

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-110	Year Month Day Time 2009 年 5 月 4 日 16 : 30
場所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B	
明	成	能代工業	
	90	78	
	○	●	
( 27 1st 24 17 2nd 19 18 3rd 21 28 4th 14 OT )			

主審:Referee 片寄 達 宮城県  
副審:Umpire 平山 尚 神奈川県  
テーブル・オフィシャル:Table officials 能代高校

No.	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	
4	×	村田 翔	6	1	1	1	2	4	×	宮城 大喜	CAP	7	0	3	1	2
5		玉田 駿	-	-	-	-	0	5	×	武藤 修平	11	0	5	1	2	
6		畠山 俊樹	-	-	-	-	0	6	/	小川 昌志	14	0	7	0	1	
7		圓山 慧	-	-	-	-	0	7	×	湊 大樹	22	4	3	4	1	
8		須川 陽介	-	-	-	-	0	8	×	伊藤 雄太	4	0	1	2	3	
9	/	木村 聡	0	0	0	0	1	9	×	伊藤 伸高	10	2	2	0	5	
10	×	高田 歳也	38	3	13	3	1	10		藤田 洸	-	-	-	-	0	
11	/	門田 瑠唯	0	0	0	0	0	11		田中 浩喜	-	-	-	-	0	
12		松澤 大晃	-	-	-	-	0	12	/	溝坂 太成	0	0	0	0	2	
13	×	杉本 健将	12	0	6	0	3	13	/	志水 一希	2	0	1	0	0	
14	×	菊地 大	26	0	12	2	4	14		中山 祐樹	-	-	-	-	0	
15	×	宮澤 耀佑	CAP	8	0	3	2	3	15	/	西嶋 宏哉	8	0	4	0	0
16	/	藤井 祐希	0	0	0	0	1	16		三上 翔平	-	-	-	-	0	
17	/	鳶木 大智	0	0	0	0	0	17	/	畑澤 哲平	-	-	-	-	0	
18	/	安藤 誓哉	0	0	0	0	0	18	/	亀山 悟史	0	0	0	0	1	
コーチ		佐藤 久夫						コーチ		佐藤 信長						
アコチ		細野 真						アコチ		安保 敏明						
合計			90	4	35	8	15	合計			78	6	26	8	17	

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。能代工は#7湊の3P、#5武藤のバスケットカウントで先手を取る。明成は早めのタイムアウトを取り、#15宮澤のインサイド、#10高田のジャンプシュートや速攻で対抗する。その後両チームともねばり強くディフェンスし、一進一退の攻防となる。能代工は#7湊の3Pやドライブからのバスケットカウントで得点を重ねるが、明成は#13杉本の速攻からのレイアップで追いつくと、#10高田がジャンプシュートやドライブ、更に3Pと立て続けに得点し、残り2分20秒で22-20とする。その後も#10高田の3Pなど、明成の勢いは止まらず得点を許すが、能代工もドライブやフリースローで加点し27-24と明成3点のリードで第10終了。

第2Q、両校とも持ち味を生かした点の取り合いとなる。明成は#14菊地のインサイドやジャンプシュートを軸に得点を伸ばすが、能代工も#9伊藤が果敢にドライブからの得点で対抗する。終了間際、能代工#15中村がオフェンスリバウンドから放ったシュートがブザービーターとなり、44-43と1点差で前半を終えた。

第3Qもシーソーゲームが続く。明成は#14菊地のインサイドを中心に加点するが、能代工は#7湊の3P、ドライブで残り5分5秒で逆転に成功。その後も#6小川のインサイドや速攻で突き放す。しかし明成も#14菊地のジャンプシュート、#13杉本のドライブで食い下がり、62-64。能代工2点リードで第3Q終了。

第4Q、立ち上がり能代工は#9伊藤の3P、#5武藤がゴール下、ドライブで立て続けに得点し流れをつかむ。明成は#10高田が積極的にドライブを仕掛けるが、能代工の高さに阻まれてしまうものの、それでも逃げることなく勝負を仕掛けジャンプシュート、ドライブで連続得点する。ここで能代工はタイムアウトを取り、直後に#13志水がジャンプシュートを決め流れを引き寄せたかに見えたが、またも明成#10高田が3Pを決め残り4分43秒で同点に追いつく。その後は明成は#4村田のジャンプシュート、能代工は#6小川のドライブで加点するが、明成が#14菊地のインサイドプレイでついに逆転に成功する。再び追いつきたい能代工であったが、明成#15宮澤が勝負所で連続してオフェンスリバウンドをもぎ取り、得点につなげる。能代工はファウルゲームを仕掛け勝利への望みをつなごうとするが明成はフリースローを確実に決め、結局90-78で勝利し、全勝を守った。